

編集後記

事務局より「プラズマ・核融合学会誌」編集委員依頼に関する依頼状が届き、具体的な仕事内容もわからないまま就任承諾書へ署名・捺印して提出した日から、はや1年9ヶ月の月日が流れ、残す任期もあと3ヶ月となりました。この間、熊本という名古屋よりずいぶん離れたところから（熊本-中部国際空港間の飛行機スケジュールが日帰り出張には向いておらず、福岡経由での名古屋入りとなり、事務局の方々にはいろいろとお手を煩わせてしまいました。）、編集委員会へ出席させていただき、記事の企画提案書を基にした熱心な議論へ参加させていただきました経験は、自身の今後の研究活動へ大きな影響を与えることとなりました。まだ残す任期もごさいますが、ここにこのような機会を与えていただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。さて、この原稿を執筆しているこの瞬間、執筆へ使用しているパソコンモニタの横に置かれた携帯電話の小さな画面には、「鬼気迫る表情でねばりにねばり、遂にセンター前へ2点タイムリーヒットを打ったイチロー」が映っておりま

す（この瞬間とは書いておりますが、ずいぶん前より筆は止まっております……）。日常では野球ファンではない限り意味のわからない前文ですが、今回ばかりは日本人の誰もが意味のわかる文章ではないでしょうか。そうです、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）決勝戦の10回表、侍ジャパンの勝ち越し場面の描写です。この2点差を守りきりわが侍ジャパンは見事優勝トロフィーを手にするのですが、この日ばかりは不況の暗い影がさしている最中にも本当に日本中が喜びに沸いたのではないのでしょうか。また、侍ジャパンのメンバーにとって、優勝したこともさながら、この優勝に沸く日本人の姿が何よりの喜びではなかったのでしょうか。我々の携わる科学技術はそこに困っている人がいて、その人たちを助けるべく、進歩していると思います。私も科学技術へ携わる人間の一人として、少しでも多くの人々が喜ぶ姿を思い描きながら、研究を進めていきたいなと感じた今日この頃でした。

（浪平隆男）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副 会 長	三間 罔興	本島 修	常務理事	中村 幸男（総務委員長）
理 事	秋山 秀典（企画委員長）		板垣 正文		伊藤 早苗	
	今井 剛（広告委員長）		奥野 健二		加藤 敬（財務委員長）	
	近藤 光昇		笹尾真実子		佐野 史道（出版委員長）	
	寺井 隆幸（編集委員長）		畑山 明聖（広報委員長）		浜口 智志（プログラム委員長）	
	林 康明		森 雅博			
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸（東大）

エディター 関子秀樹（九大）、田中雅慶（九大）、福山 淳（京大）、村上匡且（阪大）、室賀健夫（核融合研）、行村 建（同志社大）

編集委員 石鳥達夫（名大プラズマナノ）、伊藤清一（広島大）、打田正樹（京大エネ科）、江原真司（東北大工）、大谷寛明（核融合研）、大矢恭久（静大理工）、菊池祐介（兵庫県立大）、栗本祐司（シャープ）、後藤基志（核融合研）、齋藤和史（宇都宮大）、酒井 道（京大院工）、榊原 悟（核融合研）、坂本隆一（核融合研）、佐藤 聡（原子力機構）、佐藤杉弥（日本工業大工）、田中照也（核融合研）、田中康規（金沢大）、長友英夫（阪大レーザー研）、浪平隆男（熊大院自然）、畠山賢彦（東北大金研）、花田和明（九大応力研）、濱口真司（核融合研）、林 伸彦（原子力機構）、平田孝道（東京都市大工）、森 道昭（原子力機構関西）、吉川正志（筑波大院数理）、吉田弘樹（岐阜大工）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛て送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第85巻第4号

編集・発行

〒464-0075 名古屋千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/>

印刷 株式会社荒川印刷

2009年（平成21年）4月25日

定価1,365円（本体1,300円）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は（社）プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。